

## 活動報告 10

## 岩見沢美流渡森林保全の会／岩見沢市

報告者 谷雅樹さん 森山祐次さん

私（谷雅樹）は、今からちょうど50年前に岩見沢農業高校に入学して、3年間、岩見沢に本当にお世話になり、いつか何かの形でお返ししたいと思っていました。これまで40数年にわたって建設業をやってきましたが、どちらかという山を崩す仕事というか……。森林道路を建設した時には、「ここまで木を切る必要があるのかな?」と感ずることもあったのです。

岩見沢の景色は50年前とあまり変わっていません。今回、美流渡の山で風倒木を片付けたり、ゴミを撤去したり、ササを刈ったり、市民が森で活動できるようにして、地方にとってやっぱり森の果たす役目は大きいと改めて感じました。

当会の活動日は主に日曜日で、毎月2回程度、今季は14回行ないました。会員数は11人です。岩見沢市美流渡西の市有林（面積18ヘクタール）が私たちの活動地域です。長期間放置されていたため、荒廃していました。風倒木・枯損木のほか、蔓性植物の繁茂によって樹木の成長阻害が起きるなど、機能低下が著しい森でした。

平均年齢59歳のグループですので、活動前に必ず準備運動とストレッチをして安全第一を心がけました。ササ刈り、風倒木・枯損木の除去などを進めて、市民が安全に散歩できるように林内環境を改善しました。また、国道に接続するこの森の林道（市道）は、春先には倒木によって車の乗り入れが不可能な場合もあるのですが、これらを除去して通れるようにしました。

また、刈り払い機やチェーンソーなどの安全な使用方法について、森林作業の経験者から未経験者に技術指導を行ないました。

今後もさらなる技術の向上、準備運動の励行、安全な作業のための経路の確保、人材育成などを進めていく計画です。

このような活動に参加してみたいという方は、ぜひ当会までお問い合わせいただければと思います。

